

## 《事業概要》

- 事業名 インタープリター養成講座
- 日程 平成17年11月7日～11月9日 午前8時から午後6時 雨天決行
- 会場 環境省鹿沢インフォメーションセンター（宿泊ではなく通い。）  
(住所：〒377-1695 群馬県吾妻郡嬭恋村田代鹿沢園地 TEL/FAX 0279-80-9119)
- 対象 嬭恋村の自然を愛する16歳以上の自然案内・啓蒙活動、野外活動に興味のある健康な男女
- 参加人数 35名（募集人数30名）
- 参加費 嬭恋村インタープリター会会員¥10,000、非会員¥12,000
- 取得資格 嬭恋村インタープリター会・リーダー（希望者は別途¥2,000でCONEリーダーにも登録可）
- 主催 嬭恋村インタープリター会（事業担当者：木村道紘）
- 共催 嬭恋村観光協会
- 協賛 環境省、嬭恋村
- 協力 吾妻広域西部消防署嬭恋分署、嬭恋村郷土資料
- 持ち物 各人の昼食（お弁当）、筆記用具、バインダー、野外活動ができる服装・靴、あれば自然観察用具、雨具など

### ●講座1 人と自然、社会、文化の関わり 3時間 （7日午前）

講師：松島榮治様

--- 講師プロフィール ---

考古学者 嬭恋村郷土資料館館長 群馬県文化財保護審議会会長 鎌原村発掘調査など

◎第一部 『峠を越えての文化の流入』 = 嬭恋村の歴史的発展の中で =

◎第二部 『いのちと家族について考える』 = 噴火で埋まった村の話 =



資料館から黒色研磨注口土器、礫石経など、貴重で重要な資料をたくさん持参の上、ご講義いただいた。

「通常の講義は90分。その倍の180分の講義を依頼されたのは私も久しぶりです…」なんておっしゃっていたが、始まれば予想通りありとあらゆる話が出て、時間が足りなくなってしまった。

今回の講義内容の基となされた松島様の小冊子から抜粋すると、  
「嬭恋村はこのような山奥山間の厳しい自然環境にあるため、ここに住む人達の間には潜在的に僻地意識があり、歴史観は総じて低く、あえて言うならば僻地史観ともされるものがある。その僻地史観は特に実在しない架空の人物を取り上げてその実績を紹介したり、史料的に不確かな事象を恰も実在したかのように取り上げるなど科学性・合理性を欠く場合が多く、僻地史観の裏側はとかく問題とされる部分が多い…」

この地にまつわる伝説はあくまでも伝説として紹介し、インタープリターとして史実を着色することなく裏づけを基にした事実を参加者に説明してほしい…との思いを話された。

## ●講座2 安全対策 普通救命講座 AEDについて 4時間 (7日午後)

講師：吾妻広域西部消防署孺恋分署長 野口善行様と署員の皆様



現在の消防署による普通救命講習は AED（自動対外式除細動器）を用いた心肺蘇生法の講習を取り入れている。AED を使用してみると、機器がこと細やかに音声指示を出してくれるのに驚いた。音声指示通り行なえばかなりの救命に繋がるだろう。現在孺恋村には 10 機も無いのではと思われる。安くとも 1 機 30 万円はするというのが、早く一般普及して一体 5 万円位になってほしいものだと思った。

## ●講座3 自然体験活動の基礎技術 3時間 (8日午前)

講師：余頃友康様

--- 講師プロフィール ---

長野県真田町 N P O 法人フォレスト工房もくり事務局長 森林の管理人育成講座を開講  
国際アウトドア専門学校講師 森林インストラクター 野外体験活動の資格多数所持

- ◎アイスブレイク
- ◎自然体験活動の基礎技術」についてのブレインストーミング
- ◎自然体験の「技術」の考え方についてのまとめ
- ◎図書の検索方法



国際アウトドア専門学校の講師も勤める余頃様は若手にしてすでに経験豊富なナチュラルリストである。今回の講座は講師の持ち味が生かせるよう、講義時間を全て講師に預け内容は任せていたのだが、余頃様がとったのは室内であった。手馴れたアイスブレイク数種を披露し打ち解けた後は頭脳を使う講義を行なった。

☆「フィールドを使って 1 泊 2 日で自然体験の指導をして下さい」という依頼がありました。指導が始まってから終わるまで指導者は何をしているのでしょうか。(季節、時間、場所、対象、人数等、条件は各自それぞれに設定してください。いくつ設定しても構いません。)

これを各人が付箋に思いっただけ書き出し、少人数の班から最終的に全体でまとめ上げていく。「自然体験活動の基礎技術」とは、何も野外での実習ばかりで身につけるものではないという事を指導して下さった。参加者は自然体験の指導に関して、自分に足りない部分とは何かを自覚できたようだ。

- 講座 4 対象となる参加者の事を知る 2時間 (8日午後)
- 講座 5 自然体験活動の理念 1時間 //
- 講座 6 プログラムの作り方 1時間 //

講師：国田裕子様

--- 講師プロフィール ---

CONE トレーナー 日本ネイチャーゲーム協会公認トレーナー  
 森林インストラクター [キミ子方式絵画] 講師



当会のインタープリター養成講座をCONE指導者養成講座に認定させるためには、全責任を引き受けるCONEトレーナーの監修が必須となっている。我が会が依頼したのはこの3講座を一人でこなせる国田様だった。

今回国田様が選択されたネイチャーゲームは「はじめまして」「フィールドビンゴ」「きこりの親方」「木へのインタビュー」の4種。今回の参加者の多くはネイチャーゲームに触れた事の無い中高年層である。どうなるか見ものでもあった。しかし心配無用。だいたいこの講座に参加している自体、子どもの心を持ったまま大人になった人ばかりなのだ。参加者はネイチャーゲームを大いに楽しみ、新しいジャンルとの出会いの日となったようだ。

室内講義ではCONEの理念としくみを丁寧に説明して下さった他、プログラムのテーマやねらいの設定の重要性、そのために何をすべきなのか、そしてイベント終了後、評価とフィードバックが力をつける早道なのだとお話し下さった。

- 講座 7 自然体験活動の指導法 4時間 (9日午前)

講師：湯田六男様

--- 講師プロフィール ---

林野庁吾妻森林管理署 森林ふれあい係長 森林インストラクター  
 花の草津・白根山等、西吾妻地区の多数の花や自然ガイド本の著者



前半はプロジェクターを使用したプレゼンテーション。これまで長年、自然体験活動を指導してきた経験の中で生じたさまざまな事例、その傾向と対策を話してくださった。インタープリターとしては最も実践的な講義内容であったと言える。

驚いたこと、困ったこと、思い込みの危険等…。そして自分の引き出しをどこまでも多く用意し自分を高めること、しかし実際に活用するのはその一部分にとどめておくことがコツなのだと話された。

後半野外に出でのインタープリテーション。参加者の感性を導くインタープリテーション、そして掘り下げた質問に対してはしっかりと詳しく答えられるその知識の豊富さに皆感銘を受けた。

## ●講座 8 自然の理解 3時間 (9日午後)

講師：井田秀行様

--- 講師プロフィール ---

信州大学教育学部助教授 志賀高原信州大学自然教育園勤務

湯の丸山でのレンゲツツジ保護増殖活動におけるモニタリング調査等関与



最後を飾る講師は第一線の研究者。しかし井田様は教師を目指す学生達に自然や森林生態系等を子ども達に解りやすく説明する方法などをも指導されている。本講座講師に最適の人であった。

「学会で発表された内容を一般の方々に解りやすく説明していく人材が不足している。その橋渡し役にぜひ皆さんになってもらいたい」とのお話からスタート。講義内容はどんな難しいものに…?と思いきや、施設の付近を軽く散歩しながら身近な自然、オオバコやヨモギ、イグサなどを手に取り先人の知恵を中心としたさまざまなお話が出る。その昔ながらの知恵を後世に伝えてほしいとおっしゃる。参加者もいろいろな意見を飛ばし盛り上がった。

ドンダリの話では、ここぞとばかりに学説が次々と出てきた…!ではなくて、これは小学生と同じことを話しているのだという。題材によっては子どもでも大人でも知的欲求を満たせることができるのだと知らされる。

室内でのプレゼンテーションでは、「森は生きている」「森林と人との関わり」の二つを披露し、森林の歴史的蓄積による階層構造の発達、モザイク的複雑さ、ギャップと更新のお話の他、地球温暖化における木材消費大国日本とのべき道とは…?などを示唆してくださった。

★このあと、参加者 35 名に対し嬭恋村インタープリター会・リーダーの認定証を授与し、その中から 23 名が CONE 指導者として登録した。インタープリター養成講座は毎年、開講を予定している当会の基幹事業であり、今後もこのような会員のスキルアップ、フォローアップ講座を順次計画実行していく。